

第11回 グレート・ブックス読書会

1、2回生大歓迎の入門読書会です。どなたでもご自由にご参加ください。

真理の運用

— 人間の可謬性をどう捉えるか —

2016年6月27日(月) 18:15-19:45

<場所>

人間・環境学研究科棟1F **環on**

<書名>

『自由論』ミル著；斉藤悦則訳 (光文社古典新訳文庫；[KBミ1-2]) (1F グレートブックス 133.4 ||J||5)

※本をお持ちいただく必要はありません。

<コーディネーター>

豊川 祥隆 (京都大学大学院人間・環境学研究科 博士(人間・環境学)、京都看護大学非常勤講師)

<コーディネーターよりひとこと>

古来より、哲学は、「何が真理であるか」、「何が他の学問の基礎となるか」ということを主要な問題としてきました。しかし一方で、「われわれ人間は、哲学や真理とどのように付き合うべきか」ということも、暗黙にではあれ、哲学上の根深い問題として存在しています。この問題は、人間や社会の実際のあり方と密接に関係しており、一人ひとりが好きなように真理を追究すればよいという単純な答えを許さないものです。

この読書会では、J.S.ミルの『自由論』を取り上げ、有名な「危害原理」とともに、それを導く根拠となったミルの人間観や社会観をふまえつつ、人間と哲学、真理の関係について、考えてみたいと思います。

<申込み>

事前予約優先 (当日参加も歓迎)。下記アドレス宛にメールでお申し込みください。

件名を「自由論読書会」とし、お名前、ご所属を明記してください。いただいた情報はコーディネーターにお知らせします。どうぞご了承ください。また、今後の読書会のご案内を図書館から送らせていただくことがございますが、それ以外の目的には使用しません。

<問合せ先> 京都大学 吉田南総合図書館(逍遙館)

TEL:075-753-6525 MAIL:eturan61@mail.adm.kyoto-u.ac.jp